

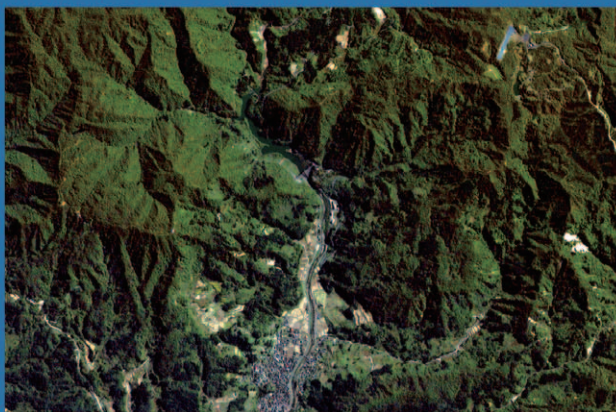
陸域観測技術衛星ALOS(だいち)がとらえた「新潟県刈谷田川ダム周辺」(2)

データ提供：財団法人リモート・センシング技術センター

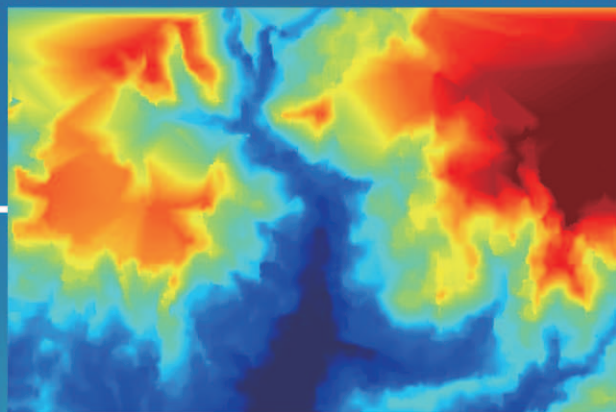
データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前掲の画像から「刈谷田川ダム」を中心とした領域を切り出してみました。左上の画像はAVNIR-2データとPRISM データを合成したPan-sharpened image(前掲)です。右上の画像は、PRISMデータから計算した数値地形モデル(DTM: Digital Terrain Model)です。PRISMは、前方視、直下視、後方視といった3方向から観測する画像を同時に取得できます。このうち、直下視と後方視の画像からDTMを作成し、Pan-sharpened imageと重ね合わせて3次元表示してみました。その結果が最下段の映像です。刈谷田川ダム周辺の地形の状況を判読してみてください。標高の計算精度については、適用分野別に検討する必要がありますが、多方面にわたってALOSデータの利用が期待されています。

Pan-sharpened image (True-color) using AVNIR-2 and PRISM data
Observation date : Oct.19, 2006 Ground resolution : 2.5m / pixel



Digital Terrain Model (DTM) made from PRISM data
Observation date : Oct.19, 2006 Ground resolution : 3.0m / pixel



Bird's eye view (True-color)

Observation date : Oct. 19, 2006 Ground resolution : 2.5m / pixel



R : Band 3 G : Band 2 B : Band 1

© JAXA Distribution RESTEC